

第2期苫小牧市人口ビジョン及び総合戦略を策定しました

政策推進課 回(32)6039

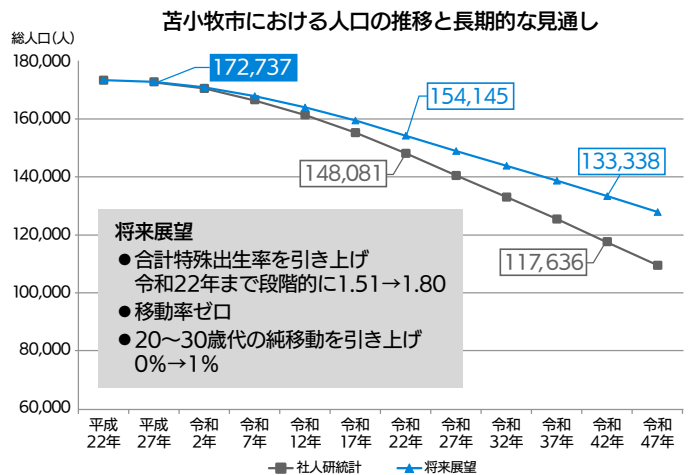
少子高齢化の進展により本格的な人口減少時代を迎え、市では、平成27年度に人口ビジョン・総合戦略を策定し、まち・ひと・しごとの創生と好循環に向けた取り組みを進めてきました。将来にわたり持続可能な社会を維持していくためには、切れ目のない取り組みが必要になることから、「第2期苫小牧市人口ビジョン及び総合戦略」を策定しましたのでお知らせします。

1 人口ビジョン

市の人口は、平成25年をピークに減少に転じており、国立社会保障・人口問題研究所（社人研）の推計によると、20年後（令和22年）の人口は14万8千人、40年後（令和42年）には11万7千人まで減少すると見込まれています。また、15歳未満の年少人口や15歳～64歳の生産年齢人口が減少し、65歳以上の老年人口が増加するとされています。

さらに、近年はこれまでになく出生数が減少しているほか、進学や就職の時期に当たる10歳代後半～20歳代前半の市外への転出が多い傾向が続いています。

人口の将来展望としては、現在1.51の合計特殊出生率を国の目標値でもある1.80まで段階的に引き上げ、さらに全ての年代で転出と転入を均衡（移動率ゼロ）させ、20歳代～30歳代の純移動率を1%引き上げることを目標とします。これらを実現するためさまざまな施策の展開を図り、令和22年に15万人、令和42年に13万人の人口を維持することを目指します。



2 総合戦略

市は、優れた交通アクセスを有し、産業拠点都市として発展してきましたが、今後も活気あふれる地域としてあり続けるためには、人口減少や人手不足に伴う経済活動の停滞などの社会不安を解消していかなければなりません。

総合戦略では、人口減少対策に関する4つの基本目標と、18の施策を掲げています。これらを総合的に取り組み、「未来に向かって挑戦し続けるまちづくり」を進めることにより、人口ビジョンの将来展望の実現を目指します。

1 地元企業と学生との“つながり”を強化し、地元雇用の確保・拡大を実現

- 施策
- ①若者の市内就職の促進
 - ②学生と地元企業との交流・連携機会の創出
 - ③苫小牧における創業支援
 - ④Society5.0の実現に向けた技術活用の支援

2 子育てしながら仕事を続けられる社会環境の整備

- 施策
- ⑤ワーキングマザー＆ファザーの子育て応援
 - ⑥子育て支援・保育サービスの充実
 - ⑦苫小牧の地域資源をいかした体験学習・地域づくりの推進
 - ⑧「ワーク・ライフ・バランス」を重視した職場の整備

3 地元の魅力を強化、暮らしやすさ発信で移住を促進

- 施策
- ⑨苫小牧出身者への継続的な情報発信の拡充
 - ⑩移住者の受け入れ体制の充実
 - ⑪ご当地イベントを活用した交流人口の創出
 - ⑫縁結びコーディネート機能の充実
 - ⑬郷土の魅力を伝える活動の推進
 - ⑭苫小牧との継続的なつながりを持つきっかけづくりの推進

4 産業競争力を高め、地域ブランド力を向上

- 施策
- ⑮進出・立地企業への支援強化
 - ⑯地理的優位性をいかした企業誘致の促進
 - ⑰広域連携事業の推進
 - ⑱持続可能な都市機能及び自然と共生した国際観光リゾートの形成



また、新たな総合戦略では、SDGsや苫小牧市男女平等参画都市宣言の視点を取り入れて、地方創生の推進を図ります。今後は総合戦略に掲げた施策の効果や事業の進捗状況を客観的に評価し、【健康で安全な都市環境のもと、世代や性別に関わらず、豊かで明るく誰もが住みやすい「とまこまい」】を目指して、市全体で取り組んでまいります。詳細は、市の☎で公表していますので、ご覧ください。

